

■別売品

通話録音サーバ

VR-800VLA SV
最大100台のVR-L140シリーズの音声データを収集し、最大約72,000時間分の音声データを保存できます。(標準モノラル保存時)
音声データはRDXカートリッジにバックアップできます。



別売の通話録音サーバソフトVR-800VLAは、お客様準備のPCにインストールして音声データを収集することができます。

音声データ集中管理システム

VR-800CES
最大500台のVR-L140シリーズをはじめとした通話録音装置およびVR-800VLA SVの音声データを収集し、最大約68万時間分の音声データを保存できます。(標準モノラル保存時)
音声データはRDXカートリッジにバックアップできます。
音声データの保存時間に合わせて3タイプからお選びいただけます。
※対象機種は当社支店(出張所)、営業所へお問い合わせください。

LAN再生ソフト

VR-LS800CES
Windows/パソコンからLANを介してVR-800VLA SV/VR-800VLAおよびVR-800CESの検索・再生等の操作ができます。

■VR-L145Hの主な仕様

接続方式 (音声入力方法)	受話器接続	受話器モジュラー端子(モジュラー配列(ピンアサイン)切替可)
	外部入力接続	3.5φステレオミニジャック
音声	データレート	標準(モノラル/ステレオ):G.726 16kbps 最高音質(モノラル/ステレオ):G.711μ-Law 16bit(モノラル/ステレオ):PCM 8kHz16bit
	送受信分離ステレオ録音	●
起動方式	音声検出・外部起動・手動・センサ・CTI制御	
検索項目	最新、本日、日時範囲指定、オペレータID、オペレータ名	
再生機能	送受信分離再生、連続再生、リピート再生 通話データのコピー、WAV変換、メモリの追加	
録音	最大録音時間※	標準モノラル:約237時間/標準ステレオ:約118時間 最高音質モノラル:約59時間/最高音質ステレオ:約29時間
	通話モニター	●
その他	セキュリティ機能	●
	アラーム通知機能	●
	通話データ転送機能	●
	ヘルプコール機能	●
	時刻修正機能	●(SNTP)
環境条件	動作時	温度条件 5~40℃、湿度条件 20~85% 結露なきこと
	保管時	温度条件 -10~50℃、湿度条件 20~85% 結露なきこと
VCCI	クラスA	
RoHS指令	対応	
電源及び消費電力	AC100V±10V:(専用電源アダプタ)/最大約3.5W PoE給電(IEEE802.3af 準拠)	
寸法:幅×奥行×高さ(mm)	本体:140×113×26(ゴム足含まず)、通話録音アダプタ:36×73×19	
質量(g)	本体:210、通話録音アダプタ:39	

※小刻みに録音を繰り返した場合や、短い通話の録音が多いときは、録音可能時間は5~20%程度短くなる場合があります。また、最大録音時間は目安としてご使用ください。

RDXドライブ USB

RDXカートリッジにバックアップされた音声データの再生用ドライブとしてVR-LS800CESをインストールしたWindowsパソコンに接続して使用します。



RDXカートリッジ

通話録音サーバVR-800VLA SVや音声データ集中管理システムVR-800CESで収集した音声データのバックアップ媒体です。



受話器上げセンサ SA-S01

通話録音アダプタSA-500に接続する受話器の上げ下げを感知するセンサです。

縦置スタンド VR-L140 ST

VR-L145Hを縦置きするためのスタンドです。



■VR-800VLA SVの主な仕様

収集台数	最大100台 ※収集対象がVR-L140H/145Hの場合 その他の通話録音装置※1は合計で最大10台まで	
録音※2	最大保存時間	約72,000時間(HDD) 録音形式:標準・モノラル
	バックアップ時間(媒体)	約63,000時間(RDXカートリッジRDX-500) 録音形式:標準・モノラル
検索項目	通話録音装置、日時、表示名、担当者、自番号、自サブアドレス、通話時間 相手番号、発信/着信区別、メモ、分類、再生フラグ (収容対象装置、接続回線、接続方式により使用できない場合があります)	
その他	セキュリティ機能	●
	アラーム通知	●
	ログイン認証機能	●(VR-L140シリーズのみ)
	機能時刻修正機能	●(NTP)
環境条件	動作時	温度条件 5~40℃、湿度条件 20~85% 結露なきこと
	保管時	温度条件 -10~50℃、湿度条件 20~85% 結露なきこと
VCCI	クラスA	
RoHS指令	対応	
電源及び消費電力	100V±10V 最大200W	
寸法:幅×奥行×高さ(mm)	431×520×176(突起物含まず)4U	
質量(kg)	18.2	

※1 対象機種は当社支店(出張所)、営業所へお問い合わせください。
※2 本体保存時間は、通話録音装置の録音形式・音質により変動します。

■VR-800VLA インストール環境

OS	Windows 7 Professional SP1 / Windows 8.1 Pro ※日本語版、64bit版のみ
CPU	インテル Core2 Duo プロセッサ2.0GHz相当以上
メモリ	使用可能メモリ4GB以上
ハードディスク	500GB(システム領域として約50GB)の空き領域 ※ 空き領域に音声データを保存します。保存する期間により必要な容量を用意してください。
光学ドライブ	DVD-ROMドライブ(インストール時に必要)
ディスプレイ	解像度1024×768以上の表示が可能なディスプレイ
入力デバイス	キーボードおよびマウス。またこれらと互換のポインティングデバイス
ネットワーク	100BASE-TX以上のネットワークアダプタ
バックアップ	音声データのバックアップはRDXのみ対応しています。このときはRDXドライブRDXカートリッジが別途必要です。

※ インストールするパソコンはお客様でご準備ください。また、通話録音サーバ専用のパソコンとしてご使用ください。
※ 本システムの動作に不具合が発生することを避けるため、他のアプリケーションをインストールして運用することは避けてください。

●定期保守契約のすすめ

本商品をつねに万全な動作環境でご使用いただくため、定期点検等による保守契約をおすすめします。保守契約に関する詳細内容は販売店までお問い合わせください。

●本商品の故障・誤操作または不具合により、発信音・通話録音などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の付随的損害の保証、また 修理を要する代替え機器の用意およびその修理中に要する費用負担等については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

●本商品ご購入後は、添付の「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容をご理解していただくからお使いください。「取扱説明書」には、本商品をご購入されたお客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。

●このカタログの記載内容は2015年6月現在のものです。●仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。●本カタログに記載された会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。

TAKA COM 株式会社 タカコム

■支店/営業所 ■出張所

- 東京 03-5651-2281 ■札幌 011-271-0225
- 仙台 022-726-7300 ■名古屋 052-734-6801
- 大阪 06-6260-4611 ■広島 082-836-3631
- 福岡 092-431-1942

本社:工場/〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山304-709
http://www.takacom.co.jp

ISO 9001 ISO 14001
JQA-1477 JQA-EM1055 本社

ISO/IEC 27001
JQA-IM1005

タカコムは
品質/環境/情報セキュリティ
マネジメントシステムの
認証取得企業です

お問い合わせは

株式会社エセリ
東京都中央区日本橋浜町2-30-1 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5
お問い合わせ総合ダイヤル 03-3662-0551
URL: https://www.exseli.com/



デジタルボイスレコーダー

通話録音装置 VR-L145H

技術基準適合品 T 000197A10

スケーラビリティに優れた
簡単構築型モデル

1席から大規模まで構築可能

設置スペースを取らない小型設計

APIによる
CTI/CRMとの連携可能



既存システムに最適な
ネットワーク型
通話録音システムを実現!

簡単接続で小規模から大規模システムまで対応!

CTI/CRM連携で

既存のシステムと柔軟に連動する

付加価値の高い通話録音システムを構築

デジタルボイスレコーダー

通話録音装置
VR-L145H

技術基準適合品 T 000197A10



システムイメージ

小規模システム (1台から)

オペレータ
検索・再生
管理者
検索・再生
通話モニター

<主な特長>

- 各オペレータのVR-L145Hに音声データを最大約237時間保存できます。
※音声データが標準モノラル保存時の場合
- 管理者はブラウザ操作により、各オペレータにある装置にアクセスし、検索再生及び通話のモニタリングができます。

中・大規模システム (500台まで)

コールセンターなど
Webブラウザ
または
LAN再生ソフト
VR-LS800CES
管理者
通話モニター
※Webブラウザの場合
音声データ
検索・再生
LAN
通話録音サーバ
VR-800VLA SV
または
音声データ集中管理システム
VR-800CES
音声データ
バックアップ

<主な特長>

- VR-800VLA SVの場合、サーバのログイン認証機能により、オペレータログイン管理やフリーシーティングが実現できます。
※VR-L145H1台につき、PC1台が必要となります
- 管理者はWebブラウザまたはLAN再生ソフトVR-LS800CESにより、オペレータ名等で検索・再生ができます。
- 音声データはRDXカートリッジにバックアップできます。

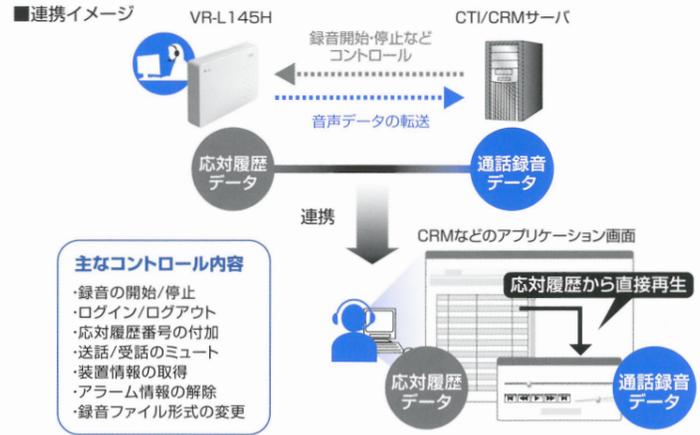
■音声データ集中管理システム 比較表

	VR-800CES	VR-800VLA SV	VR-800VLA
収集台数	最大500台	最大100台 ※1	
音声データ保存時間※2	13RR:約13万時間 37RR:約37万時間 68RR:約68万時間	約72,000時間	お客様準備のパソコンのハードディスク容量に依存します。
サーバタイプ	ラックマウント型	ラックマウント型	お客様準備のパソコンに依存します。

※1 収集対象がVR-L140H/145Hの場合、その他の通話録音装置は合計で最大10台まで
※2 保存時間は、通話録音装置の録音形式・音質により変動します

CTI連携のためのAPIを提供

●通話録音、音声データ転送その他の動作をCTIやCRMアプリケーションからコントロールするためのAPIを提供します。このAPIを利用することで、通話録音機能を実装するアプリケーションの開発が容易になります。
※APIの提供方法などの詳細は、当社支店(出張所)、営業所へお問い合わせください



小型設計・簡単接続

●筐体の小型化や録音アダプタとの2ピース構造により、設置場所が少ない場所でも安心して導入いただけます。
●接続は、電話機と受話器の間でモジュラーコネクタによる接続方式のため、回線工事が不要です。
※受話器接続の場合、ハンドセットコードの無いコードレス電話機等へは接続できません

内蔵メモリに録音

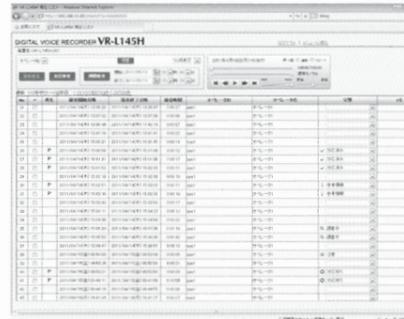
●通話は内蔵メモリに、最大約237時間録音(標準モノラル録音時)できます。古い録音から順に消去し、エンドレス録音ができます。
※最大録音件数10,000件
●独自技術の音声起動方式により、通話中以外の周囲の音声等による録音誤動作を抑制できます。<特許4841526>

ブラウザによる各種操作

●オペレータのログイン操作、管理者によるオペレータ管理画面の操作やオペレータへの通話モニターはブラウザで操作ができます。
※Internet Explorer 7/8/9に対応 (Internet Explorer 9は互換表示にて対応)

検索・再生

●検索・再生はネットワーク環境にあるお手持ちのパソコンより操作できます。
●装置への検索・再生はブラウザにより操作ができます。
※通話録音サーバ(VR-800VLA SV)や音声データ集中管理システムVR-800CESへの検索・再生はWebブラウザまたはLAN再生ソフトVR-LS800CESから操作できます



■検索・再生画面例

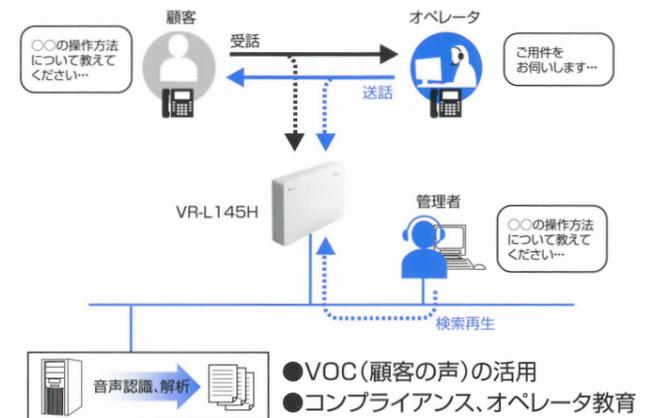
ヘルプコール機能

●オペレータのブラウザ操作より、管理者(最大5ヶ所)に対して最大3種類のヘルプメッセージを通知できます。
※管理者のパソコンに付属のヘルプコールソフトウェアのインストールが必要です

音声認識・感情解析システムとの連携

●ステレオ録音、非圧縮形式で保存する運用ができますので音声の劣化が無く、音声認識・感情解析システムとの連携をすることにより、通話内容のテキスト化、NGワード検索、また話者の快・不快の状態も監視することができます。
※音声認識システム・感情解析システムは別途必要となります

■送受話分離ステレオ録音のイメージ



セキュリティ機能

●検索・再生操作は、ID・パスワードを知らない人は操作が一切できないセキュリティ機能。また装置や通話録音サーバへの検索・再生は権限のある人のみ操作できます。
●あらかじめ登録した期間(最大180日)を過ぎると自動的にパスワード変更を促すパスワード管理ができます。
●セキュリティスロットを利用して、市販のセキュリティワイヤー等で装置をロックでき、装置の盗難・内容漏洩を防止できます。



■セキュリティワイヤー取付例

親切・便利機能

●PoEに対応しているため電源が取れない場所への接続にも対応できます。※PoE給電アダプタ、PoE対応Hubは別途ご用意ください
●電話機により異なる受話器のモジュラー配列(ピンアサイン)も切替できます。
●装置が異常状態になったときに特定のパソコンにアラーム通知ができます。
※監視するパソコンにあらかじめ付属のアラーム監視ソフトウェアのインストールが必要です
●通話データを収集し「通話件数」「通話時間」など電話のトラフィック管理ができます。
※管理するパソコンにあらかじめ付属のデータ受信ソフトウェアのインストールが必要です

工事不要で簡単構築



■接続例

